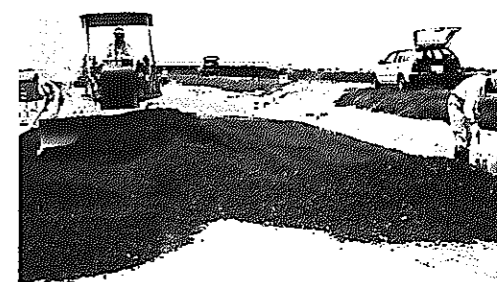
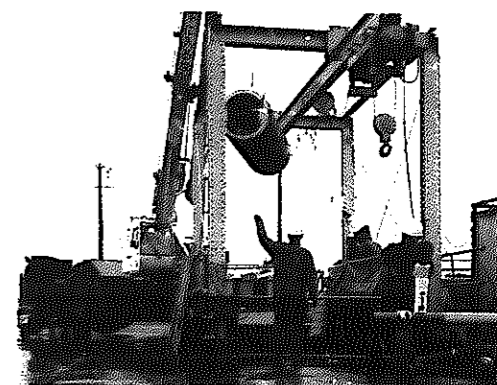
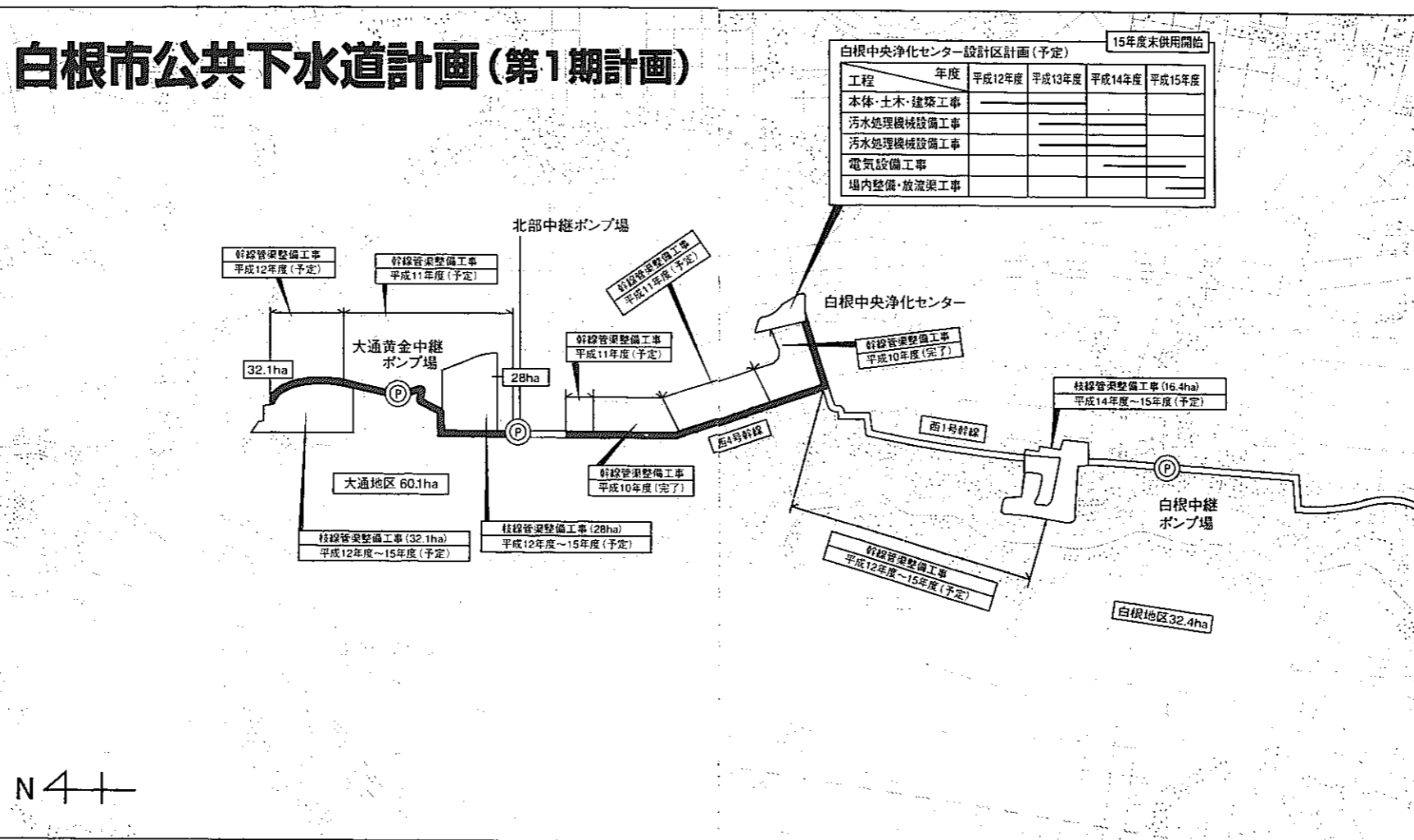


白根市公共下水道計画(第1期計画)



下水道ができると

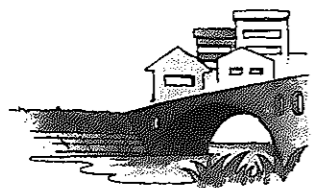
●川や海をきれいにします
汚れた水がそのまま流れていくと、川や海がどんどん汚くなります。下水道は、集めて処理場できから川へ流すので川や海は汚れません。



●さわやかな生活が実現します
くみ取り式便所やし尿浄化槽をやめ、下水道に直接流す水洗トイレになります。し尿や汚れた水は処理場できれいにされ、衛生的でさわやかな生活ができます。



●きれいな町になります
汚れた水が住宅の周りにたまると、いやなおいがしたり、ハエやカなどが発生したりして、伝染病の原因にもなります。きれいで住みよい町になります。



12年度からは
説明会が始まります

第一期の下水道工事計画は、人口密度・処理水量・投資効果を検討した上で進めています。これから、幹線工事について、各工場や家庭などと幹線をつなぐ枝線管渠の整備が進められます。大通南地区については、平成十一年度末までに枝線管渠の実設計を行います。その後工事説明会を開催していきます。

第一期の下水道工事計画は、人口密度・処理水量・投資効果を検討した上で進めています。これから、幹線工事について、各工場や家庭などと幹線をつなぐ枝線管渠の整備が進められます。大通南地区については、平成十一年度末までに枝線管渠の実設計を行います。その後工事説明会を開催していきます。

きれいな水を 自然に戻そう

私たちの生活に欠かせない「水」。トイレの水、風呂のお湯、台所で使った水など、下水道は私たちが毎日の暮らしの中で出す排水を運び、まとめてきれいにしてから川や海に戻す役割を果たします。使った水をきれいに川に戻すことで、自然を汚染から守り、生活環境を快適にします。美しい自然を次の世代に伝えていくためにも、下水道はなくてはならない施設です。

市の公共下水道事業は、まだ始まる段階。これから約三十年間の年月をかけて市内全域に普及させようというものです。今後も、工事による道路交通への支障や各家庭などの排水設備工事などについて、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

大通と白根地区の各一部の 工事が順調に進行中

第一期計画の管渠の整備延長は、およそ二万八千四百六十メートル。そのうち、平成十一年度末までに約四千九百メートルの工事が完了の予定で、整備率は一四・七パーセントになる見込みです。

さらに、平成十二年度からの年次計画は、上の計画図のとおり、北部工業団地(二十八ヘクタール)や大通南地区内(三十二・一ヘクタール)、白根地

白根市の下水道事業は平成九年度に着手され、市内全域一千二百三十五ヘクタールを対象に整備されます。整備期間はおよそ三十年。完成までには、約六百八十億円が見込まれる長期的な大事業です。昨年十月には、幹線工事が着工されました。着工から一年、現在の進捗よく状況をお知らせします。

下水道工事の 進捗よく状況